



令和8年1月30日

同級生

校長 松島 啓泰

学校では、一学年「職業学習」、二学年「薬物乱用防止教室」を行いました。

一学年では、ふなばし新卒応援ハローワークの方にお越しいただき、「働くとは」という議題で講演をしていただきました。講演では、「これからの社会は、AI(人工知能)のさらなる普及により、セルフレジや在宅勤務など、一昔前には考えられなかった働き方が当たり前になるなど、変化のスピードがますます加速していくことが予想されています。そのような先の見えにくい時代だからこそ、機械には代替できない、人としての①協調性、②コミュニケーション力、③マナー・生活態度(身だしなみ、挨拶、礼儀など)」の力を身につけることの重要性が強調されました。

講演後の質疑応答では、生徒から「日本にしかない職業はありますか」という質問が出ました。それに対し講師の先生は、「日本人が大切にしてきた『おもてなしの精神』こそが、日本の強みであり、多くの仕事に共通する価値である」と答えてくださいました。きめ細やかな心配りや思いやりは、どの職業においても誇れる力です。「企業が求めているのは学力だけではなく、思いやりの心を持ち、周囲と良好な関係を築ける人材であり、その力は社会に出てから急に身につくものではなく、学校という集団生活の中でこそ育まれていくものです。」というお話がありました。

二学年ではライオンズクラブ主催の薬物乱用防止教室を行いました。また、千葉県立船橋古和釜高等学校の演劇部のみなさんにも来ていただき、薬物乱用防止の演劇を披露していただきました。「薬物は、ダメ・絶対!!」を合い言葉に、市販されている薬でも中毒を起こす薬物になること等演劇を通して注意喚起をしてくれました。「薬の怖さを知りました。」「薬物は他人事ではなく自分も注意するように意識していきたい。」等の生徒の感想が多く薬物の使用について他人事ではないと感じたようです。

三年生は、公立高校の受検校が決まり入学者選抜(学力検査)を迎えるばかりとなりました。自分に自信を持ち今まで頑張ってきた勉強の成果を学力検査で存分に発揮してもらいたいと思います。

この一年間、皆さんはクラスや学年、学校生活の中で「仲間・友だち」と共に多くの時間を過ごしてきました。校外学習や部活動、体育祭、文化祭などの行事はもちろん、日常生活の中でぶつかり合い、悩み、時には傷つきながらも、支え合い、喜びを分かち合ってきたことでしょう。

「仲間・友だち」と過ごす学校生活も、残り2か月となりました。自分自身の成長だけではなく、周囲の人の成長も支えながら、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。そして、「友だち」から「親友」へと、さらに絆を深めていくことを期待しています。特に3年生にとっては、卒業後もこの「友だち」が、さまざまな場面で相談に乗ってくれる心強い存在となり、人生の中でかけがえない大切な存在になっていくはずです。残り2か月をどう過ごすかを自分自身で考え、実りある、充実した時間にしてほしいと思います。